

学校だより

四日市立八郷小学校発
平成23年11月4日発行

《 No.19 》

【秋の図書館まつり】

10月24日（月）から始まりました「秋の図書館まつり」も、11月4日（金）で終了します。この間、家庭や図書館ボランティアの皆さん、図書館司書の協力を得まして様々な取り組みを行いました。その一部を紹介します。

《様々な形での読み聞かせ》



＜図書館司書の先生＞



＜図書委員の子どもたち＞



＜図書館ボランティア＞

子どもたちは本を読んでもらうことがとても好きです。今回は、3年生までの学級で行いました。

司書の先生には、図書時間に図書館の低学年コーナーで、図書委員・ボランティアの皆さんには、朝の学習の時間に各教室で、大型絵本の読み聞かせをしていただきました。

《図書館ボランティアさんのイベント》



秋の季節を感じる「どんぐり」を使った「しおりづくり」をしていただきました。どんぐりのかさの部分に金具を付け、きれいなひもで結びます。どんぐりに模様をつけて完成です。

どんぐりは、大きさ・色の異なるものを用意していただき、バラエティーにとんだ組み合わせができます。子どもたちは、自分の気に入ったどんぐりやひもを選び、作り方を教えてもらっていました。

《読書パズル》



絵本のカバーを活用したパズルです。学級によって多少の違いはありますが、低学年は1冊読めばピースを1枚、高学年は200ページ読んだらピースを1枚もらえ、カバーに貼り付け完成をさせます。

個人としては、「読書カード」を持ち、図書館まつりの期間中に完成せると、「一度に二冊借りられるシール」をもらえます。

学級でも、個人でも、たくさん読もうとする意欲づけになればと思います。

裏面に続きます

《家庭読書の取組み》

「家庭でも読書に取り組む子」を育てることが、読書の推進の目標です。昨年度は四日市市教育委員、今年度は四日市市長の学校訪問がありました。その中で、本校の子どもたちの読書量に驚かれた発言もありました。それぞれの家庭で取り組んでいただいていることが大きな理由であると考えます。

図書館まつりを通して、この時期だけでなく、日常的に家庭で読書に取り組む子が増え、広がりを見せてくれるよう、これからもご協力をいただきますようお願いいたします。



＜朝の学習での読書風景＞

学校の近くの田を借り、指導していただきました平津町の小崎さんから玄米が届きました。その玄米を大矢知地区にある片山糧穀さんに格安で精米していただきました。

5年生だけでは量が多く、消費しきれないということで、全校の子どもたちにおすそ分けをすることに

【収穫したお米のおすそ分け（5年生）】



になりました。全校児童530人で分ければわずか1合程度ですが、5年生が一生懸命に取り組んだ成果です。味わっていただければと思います。

《「八郷フェスタ in 伊坂ダム」が近づいてきました》

11月20日（日）のフェスタが近づいてきました。実行委員の子どもたちは、「巨大すごろく」「自転車レース」のチームに分かれて、ゲームのルールづくり、会場図づくりなど、当日に向けて取り組みを進めているところです。



先日は、地域への広報、また、地区文化祭での広報のため、ポスターづくりを行いました。実行委員だけでは人数が少ないので、イラストクラブの子どもたちにも協力してもらいました。

日曜日の自由参観・文化祭に来られましたら、校舎1階・2階・体育館に掲示していますのでご覧ください。文化祭が終了しましたら、地域の掲示板に掲示したいと考えています。

【 学生ボランティアの支援 】

11月2日（水）から、本校の卒業生で広永町に住む、皇學館大学3年の岸田弘介さんが、12月14日まで、毎週水曜日に学習支援に来てくれることになりました。

岸田さんは社会福祉を専攻しており、子どもたちの心の動きを理解し、適切なアドバイスをしてくれるものと期待しています。岸田さんには、いくつかの学級で個別の支援をお願いしています。

＜6年教室で子どもたちの質問を受ける岸田さん＞

